

a 学校教育目標	学びに向かい、心豊かで、健やかな児童の育成 ～「かしこく」「やさしく」「たくましく」～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 自分を愛し、夢を語る児童の育成 【ビジョン】(自校の将来像) 「通ってよかった」「通わせてよかった」と誇りに思われる学校
----------	--	----------------------	--

評価計画				自己評価					改善策	学校関係者評価				
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善策	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力	授業力の向上	○ものの見方・考え方の育成を図る本質的な問いの設定 ○思考力、表現力を高める児童コーディネート力向上と「話型」の効果的活用 ○資質・能力と連動した「振り返り」の充実 ○ICTの効果的な活用を目指した授業改善 ○定期アンケート評価による成果と課題の把握、分析、改善策検討	○本質的な問いを設定した単元において、単元末の「振り返り」における児童のものの見方、考え方の見取りB評価以上の児童 ○児童が1単位時間の中で活躍する場を計画的に設けた研究授業の実践 ○1・2学期末に振り返りの交流実施 ○1・2学期末にICTの効果的な活用法の交流実施	7月80% 12月85% 2月90%										
	基礎学力の定着	○学力向上週間の計画的、効果的実施 ○計画的、効果的なドリルタイムの実施 ○家庭学習をやり切らせる指導とICT活用による家庭学習の実施 ○学力向上に向けた計画的、効果的な取組の実施及び個への支援手立てと授業改善策の検討 ○学力調査40ポイント以下の児童への手立ての充実	○単元末テスト「思考・判断・表現」のポイント 85%以上 ○NRT学力調査において、各学年、学力改善シートで提示した目標数値を達成した学級 ○全国学力調査において、学力改善シートで提示した目標数値を達成した児童の割合	85%以上										
豊かな心	ふるさとを愛する心身の育成	○一校一貢献をゴールとした生活科、総合的な学習の時間を中心とした「地域貢献活動」の効果的実施 ○学期毎に取組内容の効果の検証、改善策検討	○学校アンケート「小泉の地域が好きですか」肯定的評価4の児童の割合	85%										
	「小泉小5つの宝」の継承	○「小泉小5つの宝」(①ほかほか言葉②時間を守る③トイレのスリッパ揃え④気持ちのよいあいさつ⑤静かな廊下歩行)の児童による取組推進及び改善実施 ○ハイパーQUや定期アンケートの評価による成果と課題把握、分析、改善策検討	○「小泉小5つの宝」のうち生徒指導部の設定した重点項目を用いた重点強化週間振り返りにおける児童の肯定的評価 ○ハイパーQU (6月中旬、1月下旬)分析による学級生活満足群の割合で評価	85% 60%										
健やかな体	運動意欲の向上	○アンケートの結果分析による課題分析をし、取組内容の決定と実施 ○体育科における運動遊びの実施 ○休憩時間等を活用した学級遊びの取組実施	○運動やスポーツが好きな児童の割合 ○積極的に外遊びをする児童の割合	1学期80% 2学期85% 3学期90%										
	体をつくる	○食に対する感謝の気持ちを醸成する指導、取組実施 ○給食を食べ切る分量の自己決定と完食しようと努力する児童の育成	○栄養職員と養護教諭による栄養指導を各学年年1回以上行う。 ○学校アンケート「給食は自分で決めた分量を食べていますか」の肯定的評価	100% 90%以上										
信頼される学校	活用する	○開発した地域の教材、施設の効果的活用 ①地域教材の活用と施設との交流(含リモート) ②ゲストティーチャーの招聘と活用(含リモート)	○地域、施設、人材の活用を、学期に1回以上した学年の割合	100%										
	発信する	○学校便りの定期的な発行とPTAを活用した地域への配付 ○学年便りや学年の教育活動の様子をHPアップ ○一校一貢献の取組の学期1回以上のHPアップ	○保護者アンケートにおける「学校は保護者の願いに応えた教育を行っていると思われませんか」の肯定的評価	90%以上										
	組織の活性化と効果的な教育活動推進	○学校経営会議を核としたベクトルを揃えた取組実施 ○各部会(研究推進部、生徒指導部、保健体育部)における進捗管理とPDCAサイクルの活用による改善策の検討実施 ○担任者会における教職員の交流による取組の円滑な遂行 ○学校経営会議、三部会等を活用、教員の業務改善案を取り入れた業務改善の推進	○「効率的な働き方ができている」「児童と向き合う時間が確保できている」教職員の肯定的評価	100%										

【: 自己評価 評価】
A: 100% (目標達成)
B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60% ≤ (もう少し) < 80
D: (できていない) < 60

【: 学校関係者評価 評価】
イ: 自己評価は適正である。 ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。